

すすめよう！男女共同参画

問合せ先 役場企画課企画調整係（内線213）

◆ジェンダー統計

ジェンダー統計は、社会的・文化的に形成された性別としての男女間の生活や意識における偏りや格差、差別的状況を明らかにし、その要因や影響を整理し、対策を講じるための統計（アンケート調査など）であり、性別の把握が必要です。

一方、トランスジェンダー（出生時に判断された性別と性自認が異なる人）が抱える困難（生活しにくさ）を踏まえ、近年、各種資料から性別欄をなくす流れがあり、ジェンダー統計に必要な男女別データが得られなくなることが心配されています。

ジェンダー平等の実現とトランスジェンダーの抱える困難の解消を両立させるためには、性的志

向や性自認も含めたジェンダー統計が必要との考えから、内閣府男女共同参画局では性別欄検討ワーキング・グループを設置し、性別欄について検討しましたが、令和4年9月の取りまとめ段階では、性別欄の具体的記載方法（質問項目や選択肢）を示すに至りませんでした。

音更町でもジェンダー統計の必要性とトランスジェンダーの抱える困難を踏まえ、性別欄が不要と判断できる書類などでは性別欄を廃止し、性別欄が必要と考えるものについては男女以外の選択肢を入れるなど工夫しています。いずれも今後とも継続した改善が必要ですが、最も大切なことは、みんなが日常的にジェンダー平等の実現と性的少数者への差別をなくす努力をしていくことです。